

## (7) 水道事業会計決算の状況

### ア 総括事項

平成24年度の水道事業は、平成22年度に策定した流山市水道事業基本計画（平成23年度～平成32年度：以下「基本計画」という。）の「市民への安全な水の安定供給をめざして」を基本方針とし、流山市水道事業第6次拡張変更計画（以下「第6次拡張計画」という。）及び平成23年度に策定した財政計画（平成24年度～平成27年度）に基づいて事業を実施した。

今年度、特筆すべき事項は、平成24年5月18日に発生した利根川水系の水質事故で、これは、金属加工業者 DOWAハイテック株式会社が産業廃棄物（廃液）の処理を廃棄物処理業者 高崎金属工業株式会社に依頼したが十分な処理がされず利根川支流の烏川に排出したため、翌19日には、利根川水系江戸川から原水を取水している北千葉広域水道企業団で、原水に含まれたヘキサメチレンテトラミンが塩素と化合しホルムアルデヒドが生成されたことから、同企業団は、各構成団体に対し送水を停止せざるを得ない状況となり、本市への送水も停止された。

本市では、北千葉からの送水停止を受け、5月19日午後2時から市内全域を対象に給水を停止し、結果的に市内全世帯で断水となった。このため、午後4時から市内4浄水場において市民に飲料水の応急給水を実施した。

午後6時過ぎには、企業団からの送水が再開され、本市でも順次、給水を開始し午後11時30分頃には断水が全て解除となったが、一部の地域で鉄さびの混じった濁り水（赤水）が発生したため、市内の全水道利用者を対象に6～7月の検針分から一律1立方メートル（全栓数：66,877栓、11,579,379円）を減免することとした。

また、今年は、7月後半からの少雨傾向により利根川上流ダム群の貯水率が急激に低下したことから、千葉県では9月4日に「千葉県渇水対策本部」を設置し、流山市水道局でも9月6日に渇水対策会議を設置し渇水時における対応を協議した。9月11日には利根川水系から取水している1都5県で10%の取水制限が開始され、本市においても北千葉広域水道企業団からの送水が制限されたが、市民に対し節水に協力するようPR活動に努めるとともに、地下水の汲み上げを強化して取水制限による減水や水圧の低下等を補い、市民生活に影響が生じないように運転管理に努めた。

一方、水道事業を取り巻く環境は、節水意識が定着し、節水機能を有する洗

濯機や節水型トイレ等普及により、一人当たり一日平均給水量が年々減少傾向にあり、給水量は前年度に比較して減少した。

今年度の年間給水量は17,014,863立方メートルで、前年度比124,577立方メートル(0.73パーセント)減となっている。また、年間有収水量は15,849,133立方メートルで、前年度比58,301立方メートル(0.37パーセント)の減となった。

運営面においては、検針から料金の収納に至る一連の業務及び浄水場の運転管理業務を継続して民間に委託し、水道利用者の利便性の向上とおおたかの森浄水場での市内4か所の浄水場を一元的に運転管理し、効率的な運用に努めた。

## イ 建設事業

基本計画及び第6次拡張計画に基づき、既設浄水場更新事業を推進するとともに、各浄水場の修繕を実施したほか、配水管の改良、拡張工事を実施した。

既設浄水場更新事業については、平成19年度から平成24年度までの6か年継続事業として行ってきた江戸川台浄水場更新事業のうち、平成23年度から平成24年度までの期間で実施した管理棟建築工事及び電気・機械設備更新工事が完成し、継続事業が終了した。

一方、配水施設整備事業は、給水区域の安定給水と水圧を確保するため、配水管の口径変更と塩化ビニル管等を地震に強いダクタイル鋳鉄管や水道配水用ポリエチレン管に改良する配水管改良工事12件、延長6,939.0メートルを布設したほか、舗装本復旧工事4件、面積19,942.0平方メートルを舗装した。また、安定した水供給及び未給水区域の解消を図るため、配水管拡張工事3件、延長1,318.1メートルを布設したほか、舗装本復旧工事1件、面積1,975.0平方メートルを舗装した。

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る配水管拡張工事として、木地区、運動公園周辺地区、新市街地地区及び西平井・鱈ヶ崎地区において拡張工事12件、延長10,247.2メートルを布設した。

このほか、平方、松ヶ丘地先において配水管の機能低下や汚れの発生を防ぐため、延長1,834.0メートルの管洗浄を行い、配水管の更生を図った。

既設浄水場の維持修繕については、①江戸川台浄水場次亜注入設備修繕②江戸川台浄水場ろ過機流量計修繕③西平井浄水場1・2号ろ過機修繕等を実施し、飲用水の安定供給を図った。また、平成18年度から導入した運転管理、薬品

調達管理、設備点検及び小規模修繕等を包括的に民間委託する浄水場運転管理等業務については、平成20年度に契約を締結し、平成25年度までの委託期間で業務を遂行しており、引き続き安心・安全な水の安定供給を追求しながら、省力化及びコストの縮減を図った。

#### ウ 業務の状況

平成8年7月以来の水道料金改定を平成24年9月1日に施行した。改定内容は、基本水量10立方メートル以下が同一料金であることによって生じる水道利用者の不公平感を解消するため、水道管の口径が13、20及び25mmの契約者の基本水量を10立方メートルから5立方メートルに見直した。基本料金は、13mmが1,008円、20mmが1,396.5円、25mmが1,722円にそれぞれ改定し、使用水量5立方メートルを超え10立方メートルまでの1立方メートル当たりの従量料金単価を新たに14.7円と設定した。また、水道メーターの元栓は、案内状等により水道利用者でも簡単かつ安全に開閉することができることなどを勘案し、閉開栓手数料600円を廃止した。

平成24年度末の給水人口は165,162人で、前年度に比べ1,195人増加し、給水普及率は98.58パーセントとなった。

年間有収水量は15,849,133立方メートルとなり、前年度に比べ58,301立方メートルの減となった。

また、水道料金等の不納欠損金処理は、682件、3,454,911円で、前年度に比べ1,190,403円の減となった。

このほか、給水申込納付金の調定状況は、1,576件、417,952,500円、臨時給水については、341件、10,468,396円となった。

#### エ 経理の状況

水道局が所有する現金預金は、平成23年度決算において5,646,294,870円を保有し、このうち普通預金に1,044,174,408円、定期預金に4,602,120,462円を預入し、受取利息の確保に努めた。

しかし、平成17年4月にペイオフ制度が全面解禁され、本市水道局の現金預金も対象であることから、安全性を考慮するため、10月に流山市水道局資

金管理計画を策定し普通預金を決済用普通預金に変更（12月3日変更）するとともに、ステップ計画に基づき段階的に定期預金から国債の購入に変更することとし、2月及び3月には国庫短期証券を購入し資金運用を図った。

収益的収入は、3,510,280,455円で、前年度に比べ27,764,102円の減収となった。この主な要因は、給水収益及び給水申込納付金収入が減少したこと等によるものである。

一方、収益的支出は、3,252,586,571円で、前年度に比べ84,528,878円の増加となった。この主な要因は、ホルムアルデヒド流出による水質事故に係る災害損失や西平井浄水場用地取得費が発生したこと等によるものである。

このような状況の中、平成24年度の損益は、税抜きによる収益的収入が3,344,505,992円、収益的支出が3,161,762,656円であることから、差引182,743,336円の純利益を計上することができた。

資本的収入は、329,671,098円で、前年度に比べ14,489,743円の増収となった。その主な要因は、工事負担金収入が増加したこと等によるものである。

この資本的収入のうち、工事負担金312,406,100円は、資本的支出のつくばエクスプレス沿線整備事業費に充てるため、独立行政法人都市再生機構、千葉県及び流山市の各区画整理施行者との協定に基づき納付されたものである。

一方、資本的支出は、2,374,710,150円で、前年度に比べ1,027,671,650円の増加となった。その主な要因は、江戸川台浄水場管理棟建築工事及び電気・機械設備更新工事の完成により、建設改良費が大幅に増加したことによるものである。

オ 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案第45号	流山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	H24. 6. 7	H24. 6. 26
議案第63号	平成24年度流山市水道事業会計補正予算（第1号）	H24. 9. 6	H24. 10. 9
議案第66号	平成23年度流山市水道事業会計決算認定について	H24. 9. 6	H24. 10. 9
議案第95号	平成24年度流山市水道事業会計補正予算（第2号）	H24. 11. 27	H24. 12. 17
議案第97号	流山市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	H24. 11. 27	H24. 12. 17
議案第98号	流山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	H24. 11. 27	H24. 12. 17
議案第23号	平成25年度流山市水道事業会計予算	H25. 2. 21	H25. 3. 22
議案第24号	平成24年度流山市水道事業会計補正予算（第3号）	H25. 2. 21	H25. 3. 22

カ 職員に関する事項（水道事業管理者を除く）

職種	平成25年3月31日 現在の職員数（人）	平成24年3月31日 現在の職員数（人）	増減 （人）
事務職員	15	15	0
技術職員	9	10	△1
合計	24	25	△1